

意見書案第2号

世界平和統一家庭連合（旧統一教会）と政治家との癒着・  
政治の歪みを質すため徹底究明することを求める意見書

上記の議案を別紙のとおり東近江市議会会議規則第14条の規定により提出しま  
す。

令和4年9月12日

東近江市議会議長

西澤由男様

提出者

東近江市議会議員 田郷正

賛同者

東近江市議会議員 山中一志

東近江市議会議員 廣田耕康

世界平和統一家庭連合(旧統一教会)と政治家との癒着・政治の歪  
みを質すため徹底究明することを求める意見書

安倍元首相の銃撃事件を機に世界平和統一家庭連合(旧統一教会)と政治家とのただならぬ関係、政治を歪める動きが大きな社会問題になっている。

旧統一教会といえば、先祖の崇りがあるなどと称して高額な壺や印鑑を売る霊感商法や違法伝道などで、多くの被害者を生みだし社会的にも糾弾されている反社会的組織・カルト集団である。いまでも霊感商法による被害は続いているだけに新たな被害を生みださないための徹底的な対策が必要である。

あわせていま問題になっているのは、政治家と旧統一教会との関係である。旧統一教会の関連団体が主催する行事に参加したり、祝電メッセージを送ったり、選挙運動にも関りがあったことなどが問題視されている。岸田改造内閣の閣僚・副大臣・政務官にも旧統一教会と接点があった人が多数就任している。政治家が反社会的組織・カルト集団と関係をもつことは、それを容認することに繋がる。直ちに過去関係を明らかにするとともに、今後一切の関係を断つことを求める。また旧統一教会の名称変更をめぐる疑惑もあり、徹底究明が必要である。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年9月 日

東近江市議会議長 西 澤 由 男